

】 37 th 】

RKB女声合唱団

RKB FEMALE CHORUS 37th CONCERT

演奏会

2022 10/23 sun.

開場 13:30 開演 14:00

F FG ホール

【主催】 RKB女声合唱団

【後援】 RKB毎日放送 福岡市 福岡市教育委員会 福岡県合唱連盟 福岡音楽団体連絡会

ごあいさつ

本日はお忙しい中、又コロナ禍の中、RKB女声合唱団演奏会に
ご来場下さいましてありがとうございます。

65周年記念演奏会と銘打ち、2020年5月に開催する予定でした。
しかしコロナウイルス感染症拡大の為、3回も延期せざるを得なく、
2年4か月経ってしまいました。その期間に、素晴らしい演奏会を開催
する為、頑張ってきた副総務の和田啓子が、4月に急逝致しました。

歌うことが大好きで、ソフトバンクホークスが大好きで、マコちゃん
(夫の和田真さん) が大好きでしたね。
合唱に対しては厳しい目で、団員のレベルアップの為に一生懸命でした。
今でもまだ信じられません。
和田ちゃん、今日は大好きな信長先生の作品を、信長先生の指揮で
一緒に歌いましょうね。

R K B 女声合唱団 総務 内野美保子
団員一同



(2022年6月合唱祭にて)

ごあいさつ



RKB女声合唱団 顧問
福岡県合唱連盟 香月 ハルカ

世界中が思いがけなかったコロナ禍に見舞われ、人々の暮らしは大きな制約を受け、私達の演奏会も度々延期いたしましたが、本日ようやく開催の運びとなりました。

まだ先行きの見えない不安が残る中、ご来場いただきました皆さんに厚くお礼申しあげます。

今回の演奏会には、待ち望んでいたスペシャルゲストをお迎えすることができました。“作曲家 信長貴富さん”この20年来、数多くの合唱曲が広く日本国中で愛唱されている人気抜群の作曲家でいらっしゃいます。歌曲、室内楽曲、そして今年1月には長野・まつもと市民オペラの委嘱によるオペラが初演され、目覚しいご活躍で、本日客演でお迎えできたことが、どんなに貴重なことなのか…と改めて痛感している次第です。

本日は常任指揮者の久世安俊さんとのトークと共に、信長貴富作品の世界を存分に味わっていただきたいと存じます。

演奏会の企画に当たり涉外担当として、大変ご苦労下さった副総務の和田啓子さんが、この春、突然、永遠の旅立ちを迎えるされました。のびやかな美しい歌声、優れた音楽性をもって40年もの長い間、合唱団を支え続けて下さいました。思いがけないこの不幸を、私達はまだ受け止められずにいますが、今日は悲しみを乗り越え精いっぱい演奏いたします。

68年の歩みを重ねたRKB女声合唱団、こゝに改めて長年に亘り育んで下さったRKB毎日放送（株）に心から感謝の念を捧げます。

これからも幅広くご活躍の久世安俊さん、榎元圭さん、お二人の熱心なご指導をいただきながら、微力ではありますが音楽文化の担い手としての自負を持って精進して参りたいと存じます。

今後共、皆さま方の温かいご支援を賜りますようお願い申しあげます。

Message



©山口敦

客演 信長 貴富（作曲家 指揮）

RKB女声合唱団第37回演奏会のご開催、おめでとうございます。長く続くコロナ禍で幾度かの延期を経てようやくこの日を迎えることを、私も大変嬉しく思っています。

RKB女声合唱団との出会いは福岡……ではなく、熊本でした。合唱指揮者の雨森文也先生が中心となって熊本で催された信長作品による公募合唱団の企画があり、そちらにRKBの有志の方々が福岡からわざわざご参加くださいり、練習会場で私にお声掛けいただいたのが最初でした。有志の方々の中には久世先生もいらっしゃって、皆さんの熱意に驚き、感激したのを覚えています。

中でも一番ご熱心に私にアプローチしてくださった副総務の和田啓子さんが、今日ご一緒できることは大変残念です。演奏会の実現に向けて私と何度もやりとりをしてくださったことを思い出して悲しい気持ちが湧いてきます。そうした様々な出来事を経てRKB女声合唱団がこの舞台に立たれることを、私も共に囁みしめたいですし、歌声が晴れやかに空に届きますようにと祈っています。

今日取り上げていただく曲はコロナ禍以前からご相談を重ねて、久世先生が組み上げてくださったものです。《赤い鳥小鳥》は福岡にゆかりのある北原白秋の詩による童謡を集めてメドレーとして編曲したもので、良く知られている歌が新しい衣装をまとめて現れてくるような新鮮な感覚を味わっていただけるものになっています。

Profile

信長 貴富（のぶなが・たかとみ）

1994年上智大学文学部教育学科卒業。1994・95・99年朝日作曲賞（合唱曲）、1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位、2000年現音作曲新人賞入選（室内楽曲）、2001年日本音楽コンクール作曲部門（室内楽曲）第2位などを受賞。多数の合唱曲のほかに、歌曲、器楽作品など多岐にわたる。

「信長貴富歌曲集」「子どものためのピアノ曲集 スタートダッシュ」ほか出版多数。近年ではオーケストラや器楽アンサンブルを伴う合唱作品や、オペラなどの舞台作品も手がけている。主な作品に《新しい歌》（合唱）、《Fragments～特攻隊戦死者の手記による～》（独唱／合唱）、《マリンバ協奏曲 混線するドルフィン・ソナー》、《オペラ 山と海猫》（加藤直台本）などがある。

最終ステージで取り上げていただく曲目は、私が様々な機会に作曲したものの中から構成して下さいました。私にとってそれぞれに思い入れのある曲たちです。こうして並べてみると、作曲時期はまちまちなのですが、何か一貫した主張が背後に流れているようにも感じます。

それは、なぜ私たちは歌うのか、という問い合わせがあり、歌うことはずなわち生きることと同じ意味であるというある種の確信であるように思えます。歌は私たちに生きることの素晴らしさを教えてくれ、時に励ましてくれます。「夕焼け」（詩＝高田敏子）は平和の大切さを教えてくれますし、「未来へ」（詩＝谷川俊太郎）は希望を与えてくれます。「生きる理由」（詩＝新川和江）はまさに歌う理由を授けてくれるようです。作曲者自身が自作に励まされるというのもどこか変かもしませんが、近ごろつくづくそのように感じます。皆さんの歌が、私を励ましてくれるのです。

今日は光栄なことに少しだけ指揮をさせていただくことになっていますから、RKBの皆さんのが歌と一体となって、私も舞台を楽しみたいと思っています。久世安俊先生とRKB女声合唱団の皆さん、ピアノの榎元圭先生、ありがとうございます。どうぞよろしくお願ひします。

また貴重なご助言とともににお支えくださった香月ハルカ先生にもこの場をお借りして感謝申し上げます。

Program

第1ステージ

女声合唱とピアノのための ～北原白秋童謡詩集～

赤い鳥小鳥

信長貴富編曲

第1章 小さないのち

- 1 摆籠のうた
- 2 栗鼠、栗鼠、小栗鼠
- 3 兎の電報
- 4 たあんき・ぼうんき
- 5 ちんちん千鳥
- 6 赤い鳥小鳥

～作曲～

草川 信
成田 為三
佐々木 すぐる
中山 晋平
近衛 秀磨
成田 為三

第2章 子供の村

- 7 すかんばの咲くころ
- 8 アメフリ
- 9 かへろかへろと
- 10 砂山

山田 耕筿
中山 晋平
山田 耕筿
中山 晋平

第3章 いつか来た道

- 11 この道
- 12 摆籠のうた

山田 耕筿
草川 信

Program Note

今年（2022年）は近代日本を代表する詩人・北原白秋の没後80年となります。信長先生は、白秋の創作理念「子どもが意味を理解して歌える平易な言葉を選びつつ、しかし芸術性を失わないこと」に準拠し、詩人が見た風景、嗅いだ匂い、聴いた音を、合唱とピアノの音像の中に再現することを考慮されたそうです。信長先生の編曲の才能も然る事ながら、白秋の膨大な作品の中からメドレー形式で3つの章を構成され、しかも各章は独立して歌うことも、部分も取り出して歌うことも、章の垣根を越え自由に組み合わせて歌うことも可能な作品となっています。頭の中を覗いてみたいですね（驚）

Program

第2ステージ

FUKUOKA アーティスト 作品集

切手のないおくりもの

財津和夫 作詞・作曲 Tsing-moo編曲

青い珊瑚礁

三浦徳子 作詞 小田裕一郎 作曲 石若雅弥 編曲

心のボール

飛鳥涼 作詞・作曲 内山 信 編曲

愛は勝つ

KAN 作詞・作曲 今村康 編曲

チエリー

草野正宗 作詞・作曲 篠田聰史 編曲

アイノカタチ feat.HIDE(GReeeeN)

GReeeeN 作詞・作曲 浅野由莉 編曲

Program Note



福岡は有名人の宝庫といっても過言ではないでしょう。

ここでは福岡のアーティストの名曲を選んでみました。

「切手のないおくりもの」（1977年）：チューリップの財津和夫の曲で、
NHK『みんなのうた』で放送され大ヒットしました。

「青い珊瑚礁」（1980年）：日本を代表するアイドル松田聖子の2枚目の
シングルです。

「心のボール」（1989年）：福岡市政100周年記念イメージソングとして
飛鳥涼によって書かれた隠れた名曲です。

「愛は勝つ」（1990年）：KANが人間関係に苦しむ友人との会話の中で出た
言葉だそうで、胸に響く応援歌として歌い続けられる名曲です。

「チエリー」（1996年）：スピッツの13枚目のシングルです。春に咲く桜、
何かから抜け出す旅立ちのイメージがタイトルの由来だそうです。

「アイノカタチ」（2018年）：MISIAの名曲です。人それぞれに愛の在り方
(アイノカタチ) があると語り伝えるラブバラードです。

Program

第3ステージ

信長貴富の世界

信長貴富 作曲

指揮 久世安俊

夕焼け
たとえば君が歌うのも
行方
未来へ

高田 敏子 作詩
宮本 益光 作詞
宮本 益光 作詞
谷川 俊太郎 詩

指揮 信長貴富

種子
生きる理由
リフレイン

寺山 修司 作詩
新川 和江 作詩
覚 和歌子 作詩

Program Note

数多の作品の中から7曲をお聴きいただきます。

信長先生からのメッセージに、歌は生きていることの素晴らしさを教えてくれるものだとありました。

私も同感です。生きていることは「息」していること。息は「自分の心」であって、自分の心が活きてこそ「歌」が湧いてくるものだと思うからです。このステージでお客様に生きることの素晴らしさが伝われば・・・いや、信長貴富先生の世界（作品）はきっと伝わる空間となるものと信じています。

ここでは信長先生のおしゃべり、そして指揮もしていただきますのでご期待ください！

文責：久世 安俊

Profile

指揮 久世 安俊 (くせ やすとし)



福岡教育大学総合文化科学課程芸術コース音楽専攻卒業。同大学院教育研究科音楽教育専攻修了。北里由布子、三浦國彦、平和孝嗣、柴山昌宣の各氏に師事。これまでに、西日本オペラ協会公演のオペラ「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、「愛の妙薬」、「秘密の結婚」、「ラ・ボエーム」、「カルメン」、「魔笛」、「ヘンゼルとグレーテル」、「バステイアンとバステイエンヌ」、「カブレーイティとモンテッキ」等に出演。

アクロス福岡主催による、こどものためのオペラにも出演。

また、バッハの受難曲やカンタータ、ヘンデル、モーツアルト、フォーレなど教会音楽のソリストも務める他、合唱指揮者としても活躍。

現在、近畿大学九州短期大学教授。西日本オペラ協会理事長。

RKB女声合唱団指揮者、NCBコールアカデミア指揮者。福岡ゾリスト会員。

ピアノ 榎元 圭 (えのもと けい)



福岡教育大学大学院教育学研究科音楽教育専攻(演奏学)修了。ピアノを和田悌氏、吉田真理氏、声楽を原尚志氏、大屋省子氏、和声を内山信氏に師事。

大学在学中より演奏活動を開始し、これまでに器楽ではヤンネ館野氏を始め、NHK交響楽団第一コンサート

マスター篠崎史紀氏、次席チェロ奏者藤村俊介氏、首席クラリネット奏者伊藤圭氏らと、声楽では豊嶋起久子氏、レンツォ・ズーリアン氏ら国内外の演奏家と共に演。協奏曲ではグリーグ、ラフマニノフ、ガーシュウイン等の作品を演奏。

2013年、ミュンヘン国際音楽セミナー修了(ソロ、室内楽)。2015年、ロシアにてサンクトペテルブルク国立アカデミー交響楽団とショスタコーヴィチのピアノ協奏曲第2番を共演。現在は九州を中心に幅広く活動中。

西日本オペラ協会、ドイツ歌曲研究会「福岡ゾリスト」各ピアニスト。

JR九州クルーズトレイン「ななつ星in九州」演奏者。第6回秋吉台音楽コンクール室内楽部門入賞。

メンバー紹介

ソプラノ

立石 智子
久原 幸枝
津山 初美
小林 玲子
伏貫 令子
石橋 茉由子
池田 真由美
藪 愛

メゾソプラノ

内野 美保子
一柳 由美子
河野 泰子
松雪 真弓
甲斐 真知子
川野 公江
大浦 洋子
山坂 明美
今泉 直子
中山 洋子

アルト

小田 智子
武内 昌子
山本 美知子
北島 まり
熊野 富美代
秋枝 寿栄
東 美幸
深川 理恵子

賛助出演

第1・2ステージ

山本加代子（S）、佐藤真理子（S）、横田敬子（S）、疋田良江（MS）、中尾今日子（MS）、野口儀（A）、八木みどり（A）、野崎絵美（A）

第3ステージ

佐藤真理子（S）、伊藤裕子（S）、森山紀子（S）、高田明子（MS）、谷川直美（MS）、永翁真理子（MS）、本田萌（MS）、松田真実（MS）、香月ハルカ（A）



私たちの仲間であった和田啓子さんが
今年4月永眠されました。
謹んでご冥福をお祈りします。



運営委員

顧問	香月ハルカ	Sパートリーダー	久原 幸枝
代表・総務	内野美保子	S庶務	津山 初美
副総務	和田 啓子	MSパートリーダー	大浦 洋子
会計	北島 まり	MS庶務	中山 洋子
		Aパートリーダー	小田 智子
		A庶務	熊野富美代

合唱団のあゆみ 2019年以降

- 2019年 6月 9日 合唱連盟福岡支部第74回合唱祭 出演。
- 7月27日 九州交響楽団第375回定期演奏会「惑星」女声合唱に出演。
- 9月 7日 「Beauty to Music.Origin」（パサージュ広場） 出演。
- 11月 3日 音団連主催「ミニこん！ききにこん！あ・ら・かるとコンサート」出演。
- 2020年 1月 3日 「新春スペシャルステージ」（パサージュ広場） 出演。
- 5月 9日 65周年記念演奏会（福岡国際会議場メインホール）新型コロナ感染拡大のため2020年11月に延期。
- 6月14日 福岡支部第75回合唱祭 中止。
- 11月 新型コロナ感染拡大により2021年11月に再延期。
- 2021年11月 新型コロナ感染拡大のため37回演奏会2022年9月18日に再々延期。
- 2022年 1月 15日 福岡支部第76回合唱祭 出演。
- 6月19日 福岡支部第77回合唱祭 出演。
- 9月18日 信長貴富さんを迎えて第37回演奏会 開催。

演奏会委員

総括・涉外	内野美保子
会計	北島 まり
衣装	大浦 洋子
印刷	一柳由美子
ステージマネージメント	西村嘉利士
監修	香月ハルカ

演奏会協力 (Special thanks)

サブステージマネージャー	・三浦 好典
MC	太田 智子
ピアニスト	宮垣 洋子
撮影	柴田 夏樹
スタッフ	三浦ひとみ、ほか

ご協力いただきましたすべての皆様、本当にありがとうございました。

団員募集中です

貴女も女声合唱をご一緒にいかがですか

練習日	毎週火曜日 18:45～20:45
練習会場	RKB毎日放送会館 T 1 スタジオ
入会金	なし
会費	月額3,000円
問合せ	090-7920-7125 (内野)
HP	http://rkb-f-chorus.com/

rkb

福岡のイマが
すぐわかる、
よりわかる！



RKBテレビ
[月~金] 23:30 3:40